

まちのキラリ

前主将 (3年)
さとう らま
佐藤羅天さん

現主将 (2年)
たけうち けいた
竹内啓汰さん

聖光学院高校

特別強化指定部と全国の舞台で活躍した部活動を大特集！君たちの成長がここにある！

男子野球部

3年連続「甲子園出場」と4年連続「秋季東北地区高校野球県大会 優勝」



第106回全国高校野球
福島大会 優勝シーン

夏を振り返って（佐藤）
夏大会では、周囲の温かい応援に感動しつつ、夢の舞台である甲子園でプレーできたことに感謝。気持ちの面も含め、自分の持っている以上に発揮できたと思っています。こういった環境で高校野球を終えることができたのは人生の誇りです。「恩つなぎ」という言葉が好きなので、3年生が残せるものを、在学中に後輩たちに残していくつもりです。自分の進路は、進学して力を蓄えて4年後に「プロ野球選手」。または、幼い頃に震災を経験したこともあり（青森県出身）、「消防士」という夢を視野に入れて考えていきます。

初めての挑戦（水野・今野）
4月に創設された女子硬式野球部の初めての全国大会、1年生だけの出場で楽しみと不安が入り混じっていました。チャレンジジャー精神で臨んだ今年でしたが、今後はチーム全員が「日本一」という同じ目標を掲げて強くなります。

これからの聖光野球部（竹内）
秋の県大会決勝戦は接戦で苦しい展開でしたが、東北大会や今後のチームにとって必要な試合だったのだと振り返っています。主将は大変なことが多いですけど、良い影響力を持った選手がいろんな選手を巻き込んでくれるので、自分一人が抱え込まずに務めさせていだいていきます。チームスローガン「花を咲かせる土」にある通り、見えないところでの努力を大切にし、日常で仲間との絆を深めていきます。

女子野球部

全国高等学校女子硬式野球選手権大会 出場

現主将 (1年)
こんのなぎさ
今野凧彩さん

前主将 (1年)
みずの こころ
水野心さん

「明るく・楽しく・元氣よく」をベースに、メリハリと熱意を持って今後もプレーしていきます！





たかまどのみや
高円宮杯 JFA U-18 サッカー
プリンスリーグ 2024 東北 出場

サッカー部



主将 さいとう 正輝さん (3年)



主将の責任は重く感じていますが、「全国大会に導いてくれる」という期待を込めて選んでいただいたからには、みんなで課題を明確にし、このチームをより活性化させていきたいです。

今後の大会では、上を見過ぎて足元をすくわれないよう、これまでの悔しさを心に刻み、日々の練習に取り組んでいきます。(斎藤)

チームの強みは、粘り強いプレーとレシーブ力では負けられないという気迫です。

チームをまとめるのは大変ですが、毎日の練習で絆を深めています。きついことがあっても、乗り越えた先に結果と希望があったと3年間で実感しているので、感じたことを今後に生かしていきます。今後といえば、やる気がある新入部員、大歓迎です！(大森)



主将 おおもり りつかさん (3年)



女子バレー部



全国私立高等学校男女
バレーボール選手権大会 出場



全国高校7人制ラグビー
フットボール大会 出場

ラグビー部



主将 きむら やとさん (3年)



7人制ラグビーはラグビー(15人制)と同じ広さのフィールドで行うので、体力勝負です。初めての全国、強豪校だらけで壁を感じましたが、勝てた試合もあり、大きな収穫だと感じました。

市内の小学生を対象にタグラグビー教室を開催するなど普及をしつつ、夢の舞台「花園」出場を目指し練習に励んでいます！(木村)

5歳の頃、テレビで見た柔道に「カッコいい」と感じて柔の道へ。柔道部の女子部員は私一人だったので、福島刑務所にて刑務官の人と練習に励んでいました。

インターハイでは負けてしまったけれどいろいろな自分の技と実力を出せたので良かったです。卒業後も大学で柔道を続けたいと思っています。(後藤)



ごとう きょなさん (3年)

柔道部 (女子)



全国高等学校総合体育大会
(インターハイ) 出場



主将 きど たくみさん (3年)

剣道部

全国高等学校総合体育大会
(インターハイ) 剣道競技 3位入賞



3年生の選抜は全員県内出身で、中学生の時からしのぎを削ってきた相手たち。それが聖光学院にたまたま集い、仲間として戦うことが入学前から楽しみでした。鍛錬を積み、今回の結果だったので、やってきたことが実ったと部員全員で喜びました。主将としても悔いはありません。

我を通さずに部員を尊重

最後まで何が起こるか分からない剣道の世界。主将の自分が折れないように、周囲の意見を大事にしてきました。3年生は進学・就職しても剣道を続けます。後輩の活躍を期待しつつ己を高めていきたいと思っています。(木戸)

手話甲子園ではジェンダーレスへの理解・多様性を訴える創作劇を披露。受賞式で聖光学院が呼ばれた時は「わー!」と驚き、喜びました。何より楽しんで活動してきたことが、大会当日の最高のパフォーマンスにつながったと思っています。(曳地)

創作劇で「個性の尊重」

中学生の時に「ろう者」から道を尋ねられ、言葉が通じなかったことが悔しくて高校から手話部に入部しました。今は、手話もできる救急救命士を目指しています！(曳地)

そんな先輩の姿がオープンスクール時に格好よく見えて手話を始めました！(斎藤)

全国高校生手話パフォーマンス甲子園
(演劇・コント・ポエム部門)
鳥取県聴覚障がい者協会賞 受賞



前部長 (3年)
みき 愛来さん

現部長 (2年)
さいとう 美羽さん



その他の部活動はこちら

(聖光学院ホームページ) ▶

